



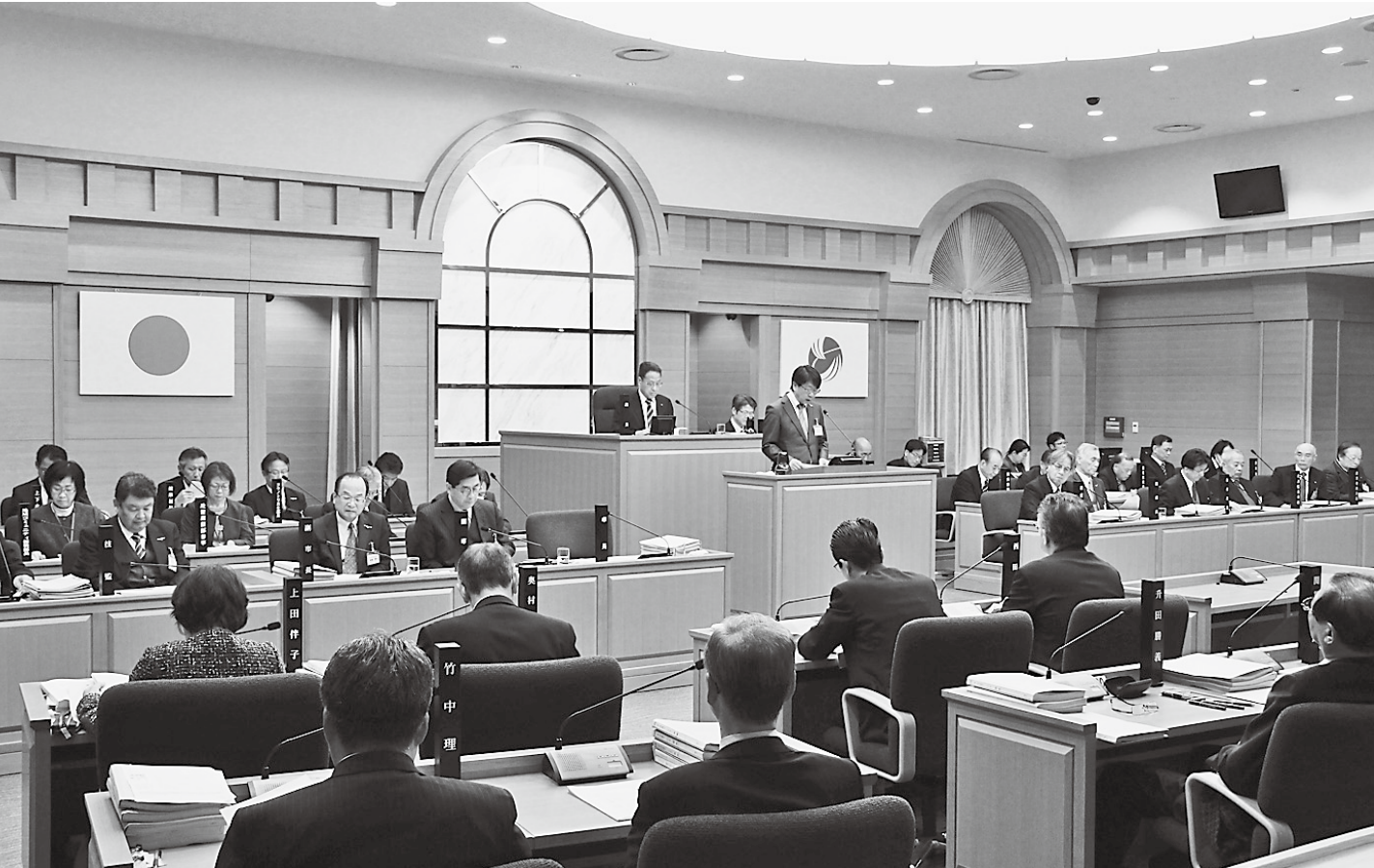
# 平成29年度 豊岡市施政方針と予算(案)

平成29年度第1回豊岡市議会定例会(3月3~29日に開催)で、  
中具市長が表明した平成29年度施政方針の一部を抜粋してお知らせします。  
また、市議会に提案した平成29年度当初予算(案)を解説します。  
※ 施政方針の全文は市ホームページ「こちら市長室」に掲載しています。



[写真：清滝小学校の桜(平成28年4月9日撮影)関連記事を32ページに掲載]





## 施政方針

～平成29年度も

市政最大の課題は地方創生  
「小さな世界都市ローカル  
& グローバル・シティ」

### 市の任務

市の最大の任務は、豊岡の人々の暮らしを支え、豊岡のまちを支えることです。

しかし、若年層が極端にやせ細ったいびつな人口構造への進展とともに進む人口減少が、私たちの暮らしを脅かす最大の要因として立ち現れています。しかも、今後その脅威はさらに増していきます。

今と明日の「今」の市民生活の平穏と活力維持のためにも、私たちは人口減少との圧倒的に不利な闘いに全力で挑んでいく必要があります。

### 人口減少の要因

豊岡における人口減少の最大の要因は、若年層の転出超過と未婚率の上昇にあります。そして、そのうちの転出超過

の要因は、多くの若者たちが抱いている地方のイメージにあるといえます。

大企業がないことなどの、大都市との経済格差に加えて、優れた芸術文化に触れる機会やおしゃれな店や通りもない。「地方は貧しくてつまらない」という強烈なイメージが、若者たちの地方への足を止めているというのが、市の地方創生戦略における基本認識です。

豊岡出身の若者たちの多くは、豊岡以外の地方も選んでいません。そこで否定されているのは、単に地方における所得の低さではありません。

彼らの多くが、進路を決める際に否定しているのは、「地方で暮らすことの価値」そのものだと考えなければなりません。

### 豊岡で暮らす価値

だとすると、戦略的に豊岡の私たちがやるべきことは、「豊岡で暮らすことの価値」の創造です。「もともと豊岡にはそれがある」という私たちの

信念から言えば、価値の再発見と再創造と言っていいたくありません。

問題の多くは、地方と大都市との関係から生じているのであり、地方創生は本質的に、地方対地方の競争ではありません。

### 地方創生

日本のそれぞれの地方が、それぞれのやり方で、それぞれのまちに暮らす価値の再発見と再創造を行うことによつて、その総和として「地方に暮らすことの価値」が確固として根付き、日本の地方創生が成し遂げられるのだと思います。

今後も、市民の皆様と共に「小さな世界都市ローカル & グローバル・シティ」の実現を旗印に、地方創生の道を歩んでいきたいと考えています。

